



さて、体育大会まであと少し。各学年、練習で盛り上がっています。運動場に面している校長室の窓から、元気な声やこすれる砂音が聞こえてきたら、どんな練習をしているのだろうとそわそわしてしまいます。がんばっている子どもたちを支えてくれている保護者の皆さま、先生方に感謝です。

今年の体育大会のスローガンを、生徒会と児童会が話し合って決めました。

輝 ～友情！情熱！最高のアルバム～

一人ひとりみんながそれぞれの輝きを放ち、熱い友情を信じて思い切り全力を出す。一生懸命取り組んだことは、いつまでも、自分の心のアルバムの中で光り輝いているよ。といった意味でしょうか。

そわそわしている心のままに運動場に足を運びます。練習風景を見ていたら、私が直接子どもたちに指導していた頃を思い出します。こんな言葉を言いながら（叫びながら？）指導をしていたなと懐かしくなります。それらの言葉、今にすぐわかないかもしれませんが、いくつか紹介します。

一生懸命がんばる姿は、カッコいい。

熱心に、ひたむきに取り組むのは気が引けると考えている人の背中を、ぐっと押してあげたい。思い切り自分を表現していいんだ。そうすることは、カッコいいことなんだよ。みんながみんな、一生懸命がんばる姿、カッコいい自分を表現する姿で大集結すれば、カッコいいだらけの塊ができあがる。みんなが安心して、自分を思いきり表現できる演技や種目、応援をつくりあげたい。

まだまだ自分はよくなれる。

全力を出したぞ。そう、確かに全力を出した。よく頑張った。すばらしいよ。じゃあ、次はどうか。あと1cmなら手を伸ばせるんじゃないか。あと1cmなら前に進めるんじゃないか。大きな一歩を踏み出すことはできないかもしれないが、小さな一歩、ほんの少しの一歩なら踏み出せるんじゃないか。どうだ。自分の力を自分で決めてしまうことなく、自分を信じて、自信を持って一歩を踏み出し、高みを目指していこう。

しんどいことの後には、いいことがあるよ。

これを伝えると、「いいことって何ですか。」との質問が来ることがあります。いいことは、人それぞれです。しんどいことの後、すぐにいいことが手に入るときもあるし、しばらく時間が経ってからいいことが手に入るときもあります。しんどいことの後には、いいこととは何か、見つけられる力をつけることも大事な。 「しんどいことの後には、いいことがあるよ。」これを信じて、楽しみにして、しんどいことにも取り組んでみよう。

がんばっている仲間をひとりにしない。

体育大会に向けて、演技の練習だけでなく、学級旗製作、意見発表、応援の小旗やプログラムづくり、声出し、テント立て、草引き等ががんばっている仲間がいると思います。見えないところ、気づかないところでがんばっている仲間もいると思います。そんな仲間の声かけをして、そのがんばりを認め、お互いにそれぞれの場所ががんばりあう。こうやって高め合う関係を築いて欲しい。

感謝。

何かものが動いた。ものが変化したときは、たいがい人の力が加わっているものです。それらを見つける目、それらを感じとる心を育てて、感謝の心をもちましょう。感謝の心を示しましょう。

気に入った言葉はありましたか。こうやって並べてみると、子どもたちと一緒に踊って筋肉痛になったことも思い出します。「動いていれば、筋肉痛は3日で治る。」との名言（迷言？）を自分に言い聞かせて、鈍い痛みをこらえながら何度も一緒に踊っていました。今年の子どもの筋肉痛は治まっているのか気になります。練習している姿、体育大会のために働いている姿、輝いていますよ。

担任の先生方が子どもたち向けにしたための学級通信にも、同じような言葉、いや、それ以上の名言（金言：きんげん）が載っています。きっと、子どもたちの心に響いていることなのでしょうね。昔も今も、体育大会は、たくさんの方が心をつ一つにして、力を出し合う行事ですね。

10月5日の体育大会は、本当に楽しみです。成功に向けて、力を出し合いましょう。